

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	新沖縄県史編集委員会
日時	平成30年2月5日(月) 14:00~16:00
場所	沖縄県公文書館 講堂
出席委員名	赤嶺政信 新垣安子 大城将保 里井洋一 高良倉吉 高良鉄美 田名真之 豊見山和行 波照間永吉 比嘉悦子 比屋根照夫 宮城晴美 吉浜忍
議題及び報告事項	<p>1 報告事項</p> <p>(1)平成28年度新沖縄県史編集委員会について</p> <p>(2)平成28年度刊行物及び29年度刊行物について</p> <p>(3)平成29年度各専門部会について</p> <p>①各論編『沖縄戦』専門部会</p> <p>②図説編『前近代』専門部会</p> <p>③各論編『民俗』専門部会</p> <p>④各論編『現代』専門部会</p> <p>⑤刊行計画検討専門部会</p> <p>(4)県史料有償頒布について</p> <p>2 その他</p>
議事の概要	<p>各専門部会に対し、以下の質疑・要望が出された。</p> <p>○各論編『民俗』専門部会において、奄美諸島の取り扱いについて伺う。 (回答)目次は既に決まっており、現在の目次には奄美諸島に特化した項目はない。『沖縄県史 各論編 民俗』については体系的にまとめるという方針で構成しており、新たに項目をつくることは現段階では難しいと考える。ただ、執筆者には各地域を網羅して執筆して欲しい旨を伝えている。また、総論のなかで取り扱えるか、今後、専門部会で検討する。</p> <p>○民俗専門部会に限らず、他の専門部会でも奄美諸島の内容の取り扱いについて検討して欲しい。</p> <p>県史料有償頒布について、以下の質疑が出された。</p> <p>○『沖縄県史 各論編6 沖縄戦』について、県民等から要望が多いにも関わらず、250部しか増刷できなかった理由を伺う。 (回答)補正予算での対応ができなかったため、既決予算の範囲内で増刷を行った。次年度予算で再増刷を予定している。(事務局)</p> <p>○刊行物に価格差があるが、その理由を伺う。 (回答)オールカラーと白黒印刷、頁数やハードカバーの有無によって単価が異なる。</p> <p>その他、県史全般に対し、以下の質疑・意見・要望が出された。</p> <p>○資料編の刊行や位置づけについて協議が必要ではないか。 (回答)今後、刊行計画検討専門部会において検討する予定である。</p> <p>○使い易い普及版や外国語版を刊行して欲しい要望がある。 (回答)次年度の刊行計画検討専門部会で検討する。</p> <p>○神歌や祭祀歌謡等、継承が危機的状況なものは、急ぎ着手した方がよい。</p> <p>○編集委員会と事務局が長期的な視点で県史刊行を計画する必要がある。普及版は民間との連携等で刊行するといった、しなやかなフットワークで対応したほうがよいと思うので、普及方法について再考する必要がある。</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県教育庁文化財課
問い合わせ先	史料編集班 担当:稲福政彦 電話 098-888-3939
備考	